



最新情報かわら版

かわら版をご覧の皆様こんにちは。今回は、「がんと経営リスク」を従業員がん保険の観点から、保険担当の安元がご説明させていただきます。

<従業員のがんと経営リスク>

がん罹患率は年齢と共に上昇することを考えると、これまでにご相談頂いた事業者様の中心的従業員の年齢帯が上がってきていることにより、従業員のがん罹患は現場からの離脱を意味するので、経営リスクだという認識になってきました。

【がん検診受診率（福岡県）】

行政の取り組みとして「福岡県働く世代をがんから守るがん検診促進事業」をご存知でしょうか。福岡県は年間15,000人ががんで亡くなっており、県民の死亡原因の1位はがんになっています。しかし、受診率を全国順位で見ると、大腸がん38%全国40位・肺がん44%全国40位・子宮頸がん39%40位となっており受診率が低い傾向があります。

【法人で準備する従業員のがん保険】

がん罹患による従業員の離脱リスクに備える為に、オリックス生命から新しくリリースされた、「法人で準備する従業員がん保険」をご案内しています。今回の新しい点は保険期間が自由に設定できるようになったことです。従業員はいつ退職するか分からないので、がん保険の主流である終身タイプだと保険料が割高になってしまうことがありましたが、今回のがん保険は保険期間を自由に設定できるため、終身タイプと比べると保険料も低廉化されました。また、保険期間の自由設定が可能となったことで、例えば定年退職年齢にそった設計も可能となりました。

オリックス生命「無解約返戻金型がん一時金保険」

がん診断一時金100万円 保険期間65歳（定年まで）として参考保険料（月払い）

20歳男性	890円	20歳女性	1,080円	30歳男性	1,240円	30歳女性	1,540円
40歳男性	1,750円	40歳女性	1,950円	50歳男性	2,580円	50歳女性	2,290円

※経理処理

契約形態は契約者「法人」 被保険者「役員・従業員」 給付金受取人「法人」となり、保険期間中は解約返戻金が無いタイプのがん保険のため、全額損金となります。（*受取人を個人に特定した場合は給与になります）

【まとめ】

がん検診受診率の低さに「がんが見つかる怖いから」という理由も上位に位置しています。怖さの本質は「何も準備していないから」ということではないでしょうか。会社でがん保険を準備することで、従業員の心理を和らげることができれば、十分な福利厚生になります。そして、従業員にがんが見つかったときは、がん一時金を活用することで、会社と従業員の双方を支援する資金となります。保険期間を自由設定できる新しいがん保険は、法人および従業員のがんリスクに対応できる保障になっていますので、貴社の対策の一つとなれば幸いです。

詳しいことをお聞きになりたい際は、
お気軽にアスモア税理士法人にご相談ください。

TEL : 092-726-2350